

2024年度 第1回総会議事録

開催日 : 2024年6月15日(土) 13時~14時
開催場所 : ZOOMによるオンライン形式
出席者 : 石田直章、吉田進、吉田寿子、岡田有史、瀬尾桂一、宇城元、岡本孝義、高橋省吾、大堂秀樹、古城元資、中元伊知郎
委任状 : 城隆志 以上、正会員18名中12名出席で総会成立
オブザーバー : 中村晃子顧問税理士、中元洋子監査、事務局より2名(佐藤勇介、吉田彫子)
議長 : 石田直章
議事録署名人 : 高橋省吾、岡田有史

石田理事長から総会開会挨拶。

1、報告事項(地域組織育成委員会 岡本孝義 委員長より)

岡山・兵庫の2か所で地域連盟設立の条件がそろい、県連盟の設立が理事会で承認されたことの報告。

2、決算報告(中村晃子税理士より)

- ・貸借対照表:未収入金が一番金額が大きいが、助成金の清算払いの未入金分。
- ・損益計算書:613万円の赤字。昨年よりも-630万円。一番の原因は受け取り助成金額が1300万円減少したことによる。
- ・販管費:全体として前年度比-980万円。内訳で大きく前年度と変わるものは2つ。
→外注費(+270万円) = 競技会の企画運営にかかる外部への委託金が増えている
→旅費交通費(-770万円) = 競技力向上に関わる部分(選手強化活動)

3、監査報告(中元洋子監査より)

適正に処理されていることが報告された。

4、2024年度予算(吉田寿子ヘッドコーチより)

・2024年度予算:TOTO助成金で、1プロジェクト(国際レベル育成プロジェクト)を実施することの報告。J-starは実施内容未定。2事業合わせて前年度比-1500万円の予算規模となることの報告。

5、2024年度事業計画(吉田寿子ヘッドコーチより)

- ・京都合同強化練習会が前年度と比べて増えていること。

・京都の強化拠点をより活用していくため、動作解析、筋硬度計、ジムウェア、超音波治療機器と、設備の導入と充実が図られていること。

・練習環境の改善に京都府様にご尽力いただき、京都トレセンからのスタッフ派遣がついに実現し、今年度よりサポート体制が充実すること。

6、強化報告（吉田進強化委員長、吉田寿子ヘッドコーチより）

・強化プロジェクト（国際レベル育成プロジェクト／JPC 新人プロジェクト）の説明

・2024 年度 FTEM 図の説明

・コーチシステムの説明（吉田進＝強化委員長、吉田寿子＝ヘッドコーチ）

・パリパラリンピック最終予選であるトビリシワールドカップ、日本代表メンバーの報告

質問 1) FTEM トップの E2、M クラスの助成率が 0%なのはなぜか？

回答 1) 上部団体から直接本人への助成金制度があるはずで、二重で助成金を受けることができないために JPPF のほうを 0%と仮で表記しているのみ（現在該当する選手がいないため）

質問 2) トビリシワールドカップの選手選考について発表はあったか？

回答 2) 全日本選手権後のドバイワールドカップ→トビリシワールドカップとの続きの選考となるため、全日本選手権前に公表したのみ。ドバイワールドカップに参加した選手は、トビリシへの派遣が可能かどうかを判断するための聞き取りを行うための合宿に参加。コーチ、メンタル、トレーナー、ドクターとの面談後、全員派遣が可能と判断され確定した。

7、事務局報告

（佐藤勇介より）

・自己紹介、2026 アジパラの担当者であることの紹介と今後の予定の報告

（吉田彫子より）

・新スタッフ紹介（パラサポ助成金で普及活動を主に担当する佐藤勇介が加わった報告）

・イベント報告

筋肉の要素から何を伝えるか、を明確にして取り組むことを進めていること、最近多いのは小学校での交流授業であることなどが報告された。

以上、審議事項が終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記；吉田彫子

議事録署名人 高橋省吾



議事録署名人 岡田有史

